

# ビワ生育情報

千葉県  
平成24年11月号

## 平成24年10月の気象

平成24年10月の半旬別気象は表1に示した。平均気温は、第1、第2、第5半旬の3半旬で平年を上回り、第3、第4半旬は平年並みで、第6半旬は平年を下回った。月平均気温は18.3℃で平年より0.4℃高く、前年と同程度だった。

降水量は第2及び第3半旬を除く4半旬で平年を上回った。月合計は301mmで平年より48mm(19%)多く、前年より23mm(7%)少なかった。

日照時間は全ての半旬で平年を上回った。月合計は165時間で平年より28時間(20%)、前年より26時間(19%)多かった。

表1 平成24年10月の気象(暖地園芸研究所)

半旬	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	22.2	20.4	17.9	56	43	108	31	20	9
2	18.9	18.8	19.1	11	76	37	22	20	32
3	18.7	18.7	20.0	8	31	31	23	21	22
4	17.7	17.7	18.4	70	35	8	27	22	14
5	17.4	16.5	20.3	82	31	142	30	24	23
6	15.4	15.9	14.8	75	36	0	33	29	39
平均/計	18.3	17.9	18.3	301	253	324	165	137	139

## 12月の作業 (花房の発育は次ページ)

気温が低下すると、ビワの枝葉や根の伸長はほとんど停止するが、開花は続き、幼果は少しずつ肥大する。12月は寒害防止の準備を行い、来春に向けて、苗木の植え付け準備にとりかかる。

## 防寒の準備

開花期は平年より遅れると予想されるが、寒害には充分気を付ける。毎年1～2月に寒波が襲来しているため、年内から防寒の準備を始める。

幼木の防寒法としては、こも掛けあるいは枝を結束する方法があるので、あらかじめ資材を用意しておく。成木園では園内を加温する方法があるので、火点設置場所の整備、ヒーター及び燃料の手配をしておく。また、防霜ファンの設置によって、放射冷却現象を緩和させることも有効である。

## 植え付け(定植)と植え穴の準備

ビワの根の伸長は3月上旬から始まるので、苗の植え付けの適期は2月中下旬頃になる。植え穴の準備は年内に済ませておく。改植の場合には、前作の根が残ると白紋羽病の発生源になるので、根を完全に除去する。

新植の場合、苗の植え付け距離は3～3.5mとし、10a当たり80～110本を植え付ける。樹冠の広がりに合わせて間伐を行い、最終的な栽植距離は6～7mにして、10a当たり20～27本の永久樹を残すようにする。

### 台風による被害を受けた樹の管理

11月1日現在、6個の台風が日本列島本土に上陸又は接近した。千葉県のパワ産地では大きな被害はなかったが、倒伏した樹は起こし、損傷の程度に応じて枝を切り詰める。起こせない場合は、管理しやすいように枝を整理する。根が地面に露出しているところは、覆土をして根の回復を図る。バーク堆肥と一緒に混ぜると、細根の再生が促され、樹の回復が早い。白紋羽病の恐れのあるところは農作物病害虫雑草防除指針に従って防除する。

### 樹及び花房の発育

今夏は好天候だったため、樹の発育は順調である。着花房率は表2に示した。本年の着花房率を品種別にみると、「楠」が98.0%、「大房」が99.1%、「田中」が96.1%で、3品種共に前年よりやや高く、平年より著しく高い。また、3品種の平均は97.7%で、過去39年間で最も高い。枝別にみても、中心枝、副梢共に着生は多い。しかし、花房の大きさは全般的にやや小さく、1つの花房に着生する花数は少ない。本年のように、ほとんどの枝に着花するような場合は、花房が貧弱で、開花が揃いやすいため、幼果が寒害を受けやすくなる。そのため、摘房は様々な発育段階の花房が混在するように行い、摘蕾は花房が3～5cmの早い時期に行うことによって、開花期の延長を図る。

本年の出蕾期は平年より著しく遅れ、発育の遅い花房も多く見られる。11月1日時点で「楠」の開花は始まったが、「大房」及び「田中」の開花は始まっていない。本年は、全般的に開花は遅れぎみだが、開花の早い園では、寒害の影響を強く受けることも予想されるので注意する。

アブラムシの発生は平年より多い。本年はカメムシのエサとなるスギ、ヒノキの球果が平年より少ないため、来年のカメムシ発生量は少ないと見込まれる。詳しくは、農林総合研究センター病害虫防除課の発生予察情報を参考にする (<http://www.pref.chiba.lg.jp/lab-nourin/nourin/boujo/index.html>)。

表2 着花房率(暖地園芸研究所)

品 種	本年 (%)	平年 (%)	前年 (%)
楠	98.0	77.6	93.2
大 房	99.1	71.8	92.6
田 中	96.1	74.5	88.2

平年：1974年～2011年の38年間の平均

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 果樹・環境研究室 電話0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産者向け情報」でもご覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/nousui/nourinsuisan/nourinsuisan.html>